

# 「肉単」正誤表 (2005.2.7更新)

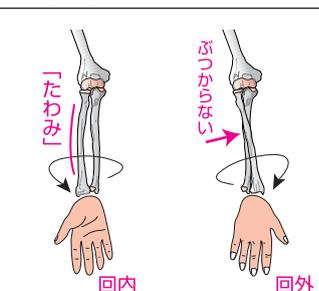
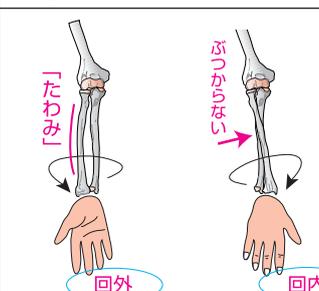
## 初版第1～3刷

箇所	誤	正
p.47 K-16 僧帽筋 解説 1、2行目	上部繊維 (上行部)、…下部繊維 (下行部)	上部繊維 (下行部)、…下部繊維 (上行部)
p.51 L-12 括弧内	小円筋は肩甲下神経、大円筋は腋窩神経後枝	大円筋は肩甲下神経、小円筋は腋窩神経後枝
p.66 右前腕断面図	母指外転筋	長母指外転筋
p.125 L-12 小円筋 主な機能	内旋	外旋
p.128 O-7 深指屈筋	尺骨 (烏口突起)	尺骨 (鈎状突起) ※赤字で表記
p.129 W-22 短趾伸筋 主な機能	第2～5趾	第2～4趾 (2～5趾の場合あり)

## 初版第4刷

箇所	誤	正
p.16 本文1行目	ラリユンクス	ファリユンクス
p.19 E-19～21	E-19 大後頭直筋、E-20 小後頭直筋、E-21 上頭斜筋	E-19 小後頭直筋、E-20 上頭斜筋、E-21 大後頭直筋
p.19 E-19～21	E-19 rectus capitis posterior major E-20 rectus capitis posterior minor E-21 obliquus capitis superior	E-19 rectus capitis posterior minor E-20 obliquus capitis superior E-21 rectus capitis posterior major
p.22 中央の段落 8行目	上腹	前腹
p.31 一番上のコメント	thorasic	thoracic
p.39 本文5行目	fallopian	Fallopian
p.54 M-1三角筋解説 13行目	肩甲突起	肩甲棘
p.64 本文13行目	carpaカルボ	carpaカルバ
p.70 Q-1短母指屈筋 解説	短母指内転筋	母指内転筋
p.72 Q-6解説 5行目	opponent	opposition
p.86 T-1の解説及び 本文1行目	下腿二頭筋	大腿二頭筋
p.131 表 第4、6鰓弓の 筋肉の欄	茎状咽頭筋	茎突咽頭筋

## 初版第5刷

箇所	誤	正
p.10 C-6, C-7	C-6 前耳介筋、C-7後耳介筋	C-6 後耳介筋、C-7 前耳介筋
p.12 C-6, C-7	C-6 auricularis anterior, C-7 auricularis posterior	C-6 auricularis posterior, C-7 auricularis anterior
p.46 肩甲骨の運動の図	下方回旋 (反時計回りの矢印)	下方回旋 (時計回りの矢印)
p.60 左上のコラム		
”	この「たわみ」は回外時に尺骨にぶつからないために重要。もし、まっすぐだとあまり回外はできない。	この「たわみ」は回内時に尺骨にぶつからないために重要。もし、まっすぐだとあまり回内はできない。
p.125 本文16行目	肩関節の外旋、伸展、水平屈曲	肩関節の外旋、伸展、水平 <b>伸展</b>
p.125 右上の図	下方回旋 (反時計回りの矢印)	下方回旋 (時計回りの矢印)

## 『肉単』正誤表

この度は『肉単』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。  
 本書の内容に以下の追加情報と訂正箇所がございましたので、  
 訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

## 「肉単」追加情報および正誤(初版～47刷)

箇所	誤	正
p.19上欄外2行目	大・小後頭直筋、上・下頭斜筋、 外側頭直筋など	大・小後頭直筋、上・下頭斜筋など
p.22コラム上、左段の図、 および中段12行目	鎖骨下三角	鎖骨上三角
p.120 E-21上頭斜筋の 停止	後頭骨(下頂線の外方)	後頭骨(下項線の外方)
p.123 G-9肋骨挙筋の支 配神経		*追加情報として “脊髄神経後枝の支配も受けている。”を 追記